


【3-2 スライドの作成】

I 挨拶 … Let's have multitype of greetings and beginnings ! (挨拶や始まりは多様さをもって)



The ability to utilize sugars in natural yeasts

Class: ○○

Name1 Name2 Name3 Name4

挨拶

- Hello, everyone,
- Thank you for coming here.
- I'm honored to be here today.

始まり

- ・ Today's presentation is about "Research Keyword".
- ・ Our research theme is "Research Theme".
- ・ I'm here today to provide a presentation on ~.

○研究テーマに触れること、クラス(分野)を入れることで、どのジャンルの発表なのかが想像できます。

○挨拶について … 複数の伝え方ができるようにしましょう。ある発表会で次の出だしが続いたらどう感じますか。

1 班目「皆さんこんにちは」、2班目「皆さんこんにちは」、3班目「皆さんこんにちは」…

単調な感じを受けると思います。

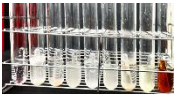

「Thank you for ~」の「~」は様々な表現ができます。生徒同士の校内発表では「Hi, I'm (ニックネーム)」などにより雰囲気をつくるような始まり方もあります。アナウンス紹介に任せて、省略できる場面もあるかもしれませんが、発表の順番などにより、適切なものを考えてみましょう。

挨拶に続き、発表の始まりも同様です。「Today」は最初の班だけで十分でしょう。

「Do you know (キーワード)?」など、慣れてくれば、問いかけから始める方法もあります。

柔軟に挨拶や発表の始まりができるように、複数の表現ができるようにしましょう。

2 発表の構造

Contents	
・ Introduction	
・ Method	
・ Experiment 1	
・ Results & Discussion1	
・ Experiment 2	
・ Results & Discussion2	
・ Conclusion & Future Plan	
・ Acknowledgement & Reference	

- ・ Our talk consists of these parts.
- ・ Here is our research contents.

研究の構成紹介です。実験が2~3回あれば記載し、ボリュームを伝えましょう(1回であれば不要です)。さらに多数あれば、「Experiment」「Result&Discussion」に対する「1,2…」の区分は省き、「We tried 5 experiments」などと話すことでボリュームを伝えましょう。

3 導入 Introduction

[発音チャレンジ]アクセントを調べて正しく発音しましょう。

(1) introduction(導入) (2) **previous research**(先行研究) (3) background(背景)

序論の組み立て方(Introduction)は次の通りでした。

問い(関心をもった事物への疑問) → 先行研究の調査 → リサーチエスチョン(独自性のある課題)

「問い」と「リサーチエスチョン」は、いずれも「research question」と訳すことができます。

それぞれのニュアンスを示すためには、工夫が必要です。